

大東市立こども診療所 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】 大東市立こども診療所
【指定管理者名】 医療法人 京慈会
【評価対象年度】 令和 2 年度
【施設所管課名】 保健医療部 地域保健課

業務内容について評価

事業計画に基づき、適切な管理・運営を行っています。
施設の利用者は、令和 2 年度 2 月期現在の 11 か月間で、診療 2,843 人、ワクチン接種 3,464 人、健診 194 人、合計 6,501 人と、コロナ禍により患者数が減少しているが、ワクチン接種、健診については、それぞれ前年度より増加しています。
建物については、老朽化も相当進んでおりますが、丁寧に使用していただいています。インターネットで初診受付サービスを行うなど、利用者の要望に応じて、柔軟に対応しており、サービスの維持・向上に努められたことを評価します。
また、自由提案事業の病児保育の実施を見送っていることについては、近隣で実施している医療機関への影響も考慮しての判断と考えます。

利用者満足度について評価

受診によるコロナ感染の懸念が拭えず、受診抑制が働く中、万全の感染対策が行われているにもかかわらず、そのアピールが患者まで届いていなかったように感じられました。
ワクチン接種・健診等で訪れた市民には感染対策が伝わり安全感が醸成され、件数の増加に繋がったことは評価します。

収支状況について評価

コロナ禍による診療患者数の半減は、診療報酬の著しい減収となっていることから、令和 2 年度に限り、指定管理料の増額見直しを行ったが、今年度は厳しい収支結果となるものと予想されます。

総合評価

患者数について、コロナ禍により、1 日あたりの診療患者数の半減はやむを得ないが、ワクチン接種、健診の数が、それぞれ前年度と比較して増加していることは高く評価できます。
コロナ禍により診療報酬の著しい減収となっていることから、市の指定管理料を見直しても、今年度は厳しい収支結果となるものと予想されます。
インターネットで初診受付サービスを行うなど、市民への周知について努力されていました。